

2015年6月総括

6月は、雨の日が前年に比して多く、雨に弱い“洗車”の台数が、前年比86%と大幅に減りました。

特に、その影響は西日本において顕著に表れ、(雨または曇りの日が、昨年は30日中の10日に対して、今年は30日中の20日。[Yahoo!天気]調べ)。“洗車”の台数が、前年比74%まで落ち込みました。

しかし、そんな状況の中でも、雨の影響を受けにくいコーティングは伸ばすことができ、クリスタルキーパーは施工台数ベースで、前年比111%。ダイヤモンドキーパー(ダブル含む)は、前年比137%でした。その結果、全体の販売実績では、前年対比105%と、前年を上回ることができましたが、既存店舗のみの販売実績では98%と、厳しい結果となっています。

7月は、梅雨明けと共に、洗車の需要も必ず増し、夏の需要期が始まります。そのため、6月中に、社内で技術コンテストを開催するなど、技術力の向上に努めてきました。暑く、熱い夏まで、あともう少しだけの辛抱です。一台一台、お客様の車のキレイを、確実に実現していきます。

東日本事業本部 鈴置 力親 / 西日本事業本部 畠中 修

キーパーLABOオープン情報

8月1日(土) キーパーLABO高針店

(愛知県名古屋市中区東区神里2丁目12番地)

名古屋市名東区は名古屋中心へのベッドタウンとして位置しており、名古屋第2環状自動車道も整備され、今も発展している地域です。素晴らしい街に出店でき、楽しみです!



2015年 6月	今月施工台数(台)			売上金額(円)			前年 対比	平均 単価	人時 生産
	ピュア	クリスタル	ダイヤ	洗車・ コーティング	板金・ その他	合計			
札幌店	67	171	30	7,957,845	576,215	8,534,060	106%	11,853	6,131
仙台長町店	9	21	7	1,163,327	—	1,163,327	—	14,542	2,824
さいたま店	15	42	28	3,578,450	3,532	3,581,982	198%	11,300	5,382
浦和美園店	13	68	15	3,548,506	37,435	3,585,941	100%	10,187	5,508
草加店	21	47	26	4,637,429	28,909	4,666,338	88%	9,523	5,480
船橋店	22	51	15	3,175,472	1,906	3,177,378	180%	10,087	5,166
野田店	6	8	11	1,315,655	1,362	1,317,017	—	9,977	2,647
柏店	18	36	9	2,800,107	66,779	2,866,886	85%	10,276	4,533
松戸店	25	37	11	3,017,931	87,606	3,105,537	64%	9,188	4,639
松戸東店	21	40	10	2,867,110	70,093	2,937,203	104%	9,567	4,799
足立店	47	99	34	7,525,087	-2,336	7,522,751	114%	8,758	5,843
板橋店	20	70	35	5,578,257	27,048	5,605,305	109%	11,256	5,628
世田谷店	30	69	47	6,783,443	52,615	6,836,058	172%	11,993	6,395
八王子店	26	88	25	5,377,727	6,058	5,383,785	101%	8,826	5,336
相模原店	25	48	13	3,448,268	—	3,448,268	90%	8,556	4,455
上溝店	18	42	28	4,157,917	1,776	4,159,693	98%	10,048	5,187
東郷店	18	19	11	1,768,227	93,112	1,861,339	—	7,989	3,499
豊田店	24	43	17	3,200,839	15,892	3,216,731	73%	8,601	4,534
岡崎店	47	67	17	4,191,618	23,201	4,214,819	84%	9,006	5,269
安城店	23	45	18	3,351,239	28,408	3,379,647	77%	9,184	5,211
知立店	22	44	15	3,241,133	16,231	3,257,364	96%	9,782	5,655
刈谷店	19	40	19	3,509,775	157,928	3,667,703	76%	9,703	5,519
半田店	21	67	11	2,593,824	50,000	2,643,824	128%	9,476	4,887
大府店	12	26	10	2,575,096	170,835	2,745,931	69%	8,581	4,393
共和店	2	11	1	509,026	1,160,862	1,669,888	54%	19,880	2,872
東海店	43	29	22	4,471,451	22,453	4,493,904	92%	9,920	5,229
鳴海店	21	36	9	2,286,127	34,362	2,320,489	67%	7,343	4,144
大須店	15	60	24	4,504,594	50,720	4,555,314	85%	10,718	5,391
中川店	18	54	17	3,799,996	431,288	4,231,284	105%	9,638	6,273
甚目寺店	40	55	13	3,291,897	95,786	3,387,683	95%	9,332	5,609
一宮店	21	76	21	3,939,781	20,696	3,960,477	109%	11,480	5,880
大垣店	10	11	14	1,181,670	37,647	1,219,317	—	12,442	3,243
鈴鹿店	26	76	20	4,623,059	48,783	4,671,842	110%	9,794	5,270
津店	13	35	21	2,580,492	49,991	2,630,483	—	16,755	5,911
名張街道店	5	18	9	1,051,438	1,550	1,052,988	—	13,000	3,125
宝塚店	25	51	13	3,106,511	5,801	3,112,312	98%	8,389	5,065
新湊店	38	50	17	3,680,387	23,655	3,704,042	115%	9,307	5,903
合計	846	1,850	663	130,390,711	3,498,199	133,888,910	—	9,959	5,430
前年対比	107%	111%	137%	107%	57%	105%	—	111%	101%

※上記のうち、前年実績のある既存店舗31店舗のみの前年同月比は98%です。

※ピュア(ピュアキーパー)はコーティングケアを含みます。※ダイヤ(ダイヤモンドキーパー)は、ダブルダイヤキーパーを含みます。

SUPER GT REPORT 6月20・21日 第3戦[BURIRAM SUPER GT RACE] in チャン・インターナショナル・サーキット

37号車 KeePer TOM'S RC F ハンディを負いながらも6位入賞!!

スーパーGT第3戦はシリーズ唯一となる海外戦として、タイ国プリーラムにあるチャンインターナショナルサーキットで6月20日から21日の2日間にわたり開催された。

本大会、最も重い50kgのハンディキャップウエイトを搭載している37号車KeePer TOM'S RC Fのアンドレア・カルダレッリ選手と平川亮選手は粘りの走りを見せて6位入賞を果たし、5ポイントを加えて計30ポイントとしてシリーズランキングトップの座を堅持した。



〈20日 予選〉

50kgのウエイトを乗せ、苦しい戦いに立ち向かう

気温36℃、路面温度62℃という猛暑の中、現地時間15時20分(日本時間17時20分)より第3戦GT500クラスの予選が始まった。

まず予選1は平川亮選手が乗り込む。37号車KeePer TOM'S RC Fは本大会最大重量50kgのハンディキャップウエイトを搭載しての予選であり、苦戦が強いられる。

ハンディキャップウエイトを積むことは重量的に不利となつてスピードが上がらないばかりではなく、ブレーキへの負荷も増す。また考慮しなければならないこととして、決勝レースにおいて雨が降ってウエット宣言が出されない限り、予選1もしくは予選2で使用した、いずれかのタイヤで決勝レースをスタートしなければならないため、決勝レースを見据えたタイヤ選択が重要となる。

タイヤを劣わり、効率の走りで予選6位に

LEXUS TEAM KeePer TOM'Sとしては、予選走行距離はできるだけ少なめに走り、最大の効果を生む作戦を立てる。そのため、予選が開始されてもなかなかコースインせず、ピットで待機しながらチャンスを待つ。タイヤの特性からしてピットアウトして3周目と4周目にアタックすれば効率的な予選が展開できる。そのためには約7分を要する。

残り予選時間7分となったところでKeePer TOM'S RC F 37号車はピットを出る。平川選手はタイヤを劣わりつつ温めも十分行った計測2周目、1'25.747をマークしてトップに躍り出る。計測3周目も引き続きアタックを試みるが1'25.766と2周目を上回ることができない。これ以上タイヤは酷使する必要がないと判断したピットサイドから平川選手に「BOX! BOX!」という無線が飛ぶ。「BOX」とは、「ピット

に戻ってこい」という呼びかけである。なおもアタックしている他車の動向は気になるが、予選1通過はほぼ確定、4番手で通過した。

予選2のドライバーはアンドレア・カルダレッリ選手。予選1同様、タイヤを劣わる作戦の最大効率化を採る。残り7分となったところでコースイン。タイムは伸びず、予選6番手となり、十分ポイントを狙える位置につけた。



〈21日 決勝〉

ポジションをキープした安定の走り

スタートドライバーはアンドレア・カルダレッリ選手。気温37℃、路面温度50℃でのスタートである。

KeePer TOM'S RC F37号車は無難なスタートを切り、ポジションを維持したまま1コーナーを維持する。ハンディキャップウエイトは思いの外効いている。トップとの差は開きつつあるが、ポジションはきっちり守った走りをしている。5周目、他車が単独でスピンを喫したために5番手に浮上。それでもトップとの差は開きつつある。7周目、6番手に後退。ポジションをキープしたまま走行を続けるものの、13周目から後続の1号車と接近。1号車とのバトルが20周も続くがポジションは譲ることなくキープ。レース中盤、32周を過ぎたあたりから各車、ルーティンのピットインが始まる。

ポイントは30、ランキングトップを維持!

レースの中間点である33周目、KeePer TOM'S RC Fもピットイン。ドライバーは平川亮選手に交代。完璧とは言えないまでも、そつのないピット作業であるが、コースに戻った時点で10番手まで後退する。35周目には9番手、37周目には8番手まで順位を挽回。43周目、他車のトラブルで7位に浮上。53周目には前を走る4台が視野に入るまで追い上げ、3位争いを5台で繰り広げるまでに接近。58周目、チームメイトである36号車を捕らえて6番手に浮上。その勢いで前車を追うも適わず、スタート時のポジションである6位でチェッカーを受けた。

シリーズポイントを30と伸ばし、ランキングトップを維持したものの第4戦富士大会では50kg相当の燃料流量規制のほかに、10kgのハンディキャップを負わされることになる。厳しい戦いを強いられるが、ランキングトップとしての証であり、誇りを持って挑みたい。

